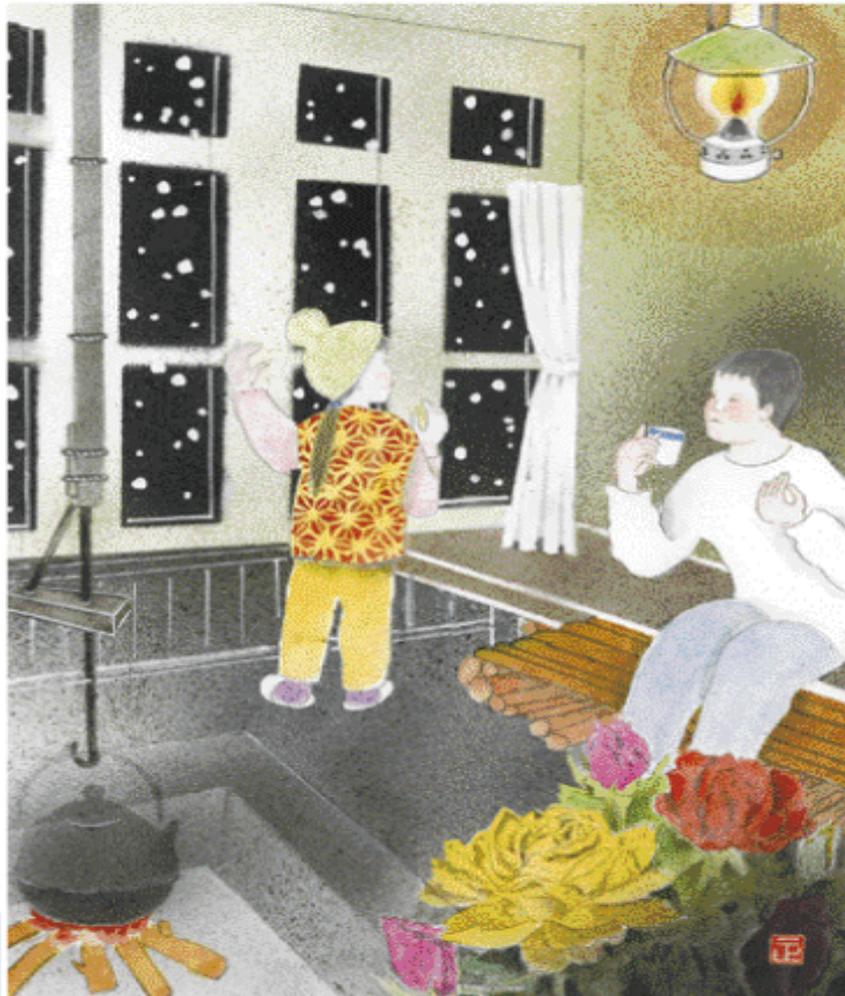


議会だより

おやま町議会

No. 121



おやまの文化財

シリーズ No. 11

国登録有形文化財——「松村家住宅主屋」

この建物は、昭和12年に神奈川県出身の鎌和田良章さんの別荘住宅として築き建てられました。造りは、木造平屋建てです。洋風の食卓と和風の床の間からは、格調高い職人の仕事ぶりがうかがえます。特に食堂の調度品は当時のものがそのまま現在も使用されています。大正から昭和初期に流行した和風と洋風を融合させた作風が評価され、平成20年6月に豊門会館に次いで8件目となる国の登録有形文化財として認められました。

絵：大真正之（坂下）

12月
定例会

- 足柄ふれあい農園条例などを可決……………2
- 町政のここが聞きたい 一般質問に4人……………3
- 議員研修報告……………7
- 私からの提言……………8

今春オープンに向け 足柄ふれあい公園を建設中!

農村公園条例・足柄ふれあい農園条例を制定

12月 定例会

12月定例会が11月30日から12月15日まで、16日間の会期で開催されました。

今定例会には、当局から補正予算、条例の制定及び一部改正、工事請負契約の締結、町監査委員の任命など19議案。議員から意見書の提出1議案、合計20議案が提出され、審議の結果、いずれも原案どおり可決しました。

農村公園条例

町内に整備された4か所（足柄ふれあい、柳島沼子、弁天、湯船、大胡田）の農村公園の設置及び管理運営などについて定めるものです。

Q 子ども会で花火・キャンプファイヤーなどの火気を使用することは禁止行為にあたるのか。

A 原則的には禁止ですが、子ども会などで使用する場合は、町長に届出が必要となります。町長が認めた場合は許可をします。

足柄ふれあい農園条例

足柄ふれあい公園内に設置される農園の管理運営などについて規定するものです。

○区画農地 55区画

1 区画30㎡

○使用者の資格

・町内に在住する農業者以外
の町民又は町内に在勤している者

・使用許可を受けた後、町外に住所を移した者

・その他町長が認めた者

○使用期間 4月1日～3月31日の1年間

○使用料 1万2千円

Q 町の良い所を分かってもらうためにも、町内に限らず使用者の範囲を広げた方がよいと思うが。

A 町長が適当と認めた場合は、町民以外の方にも使用していただくよう柔軟な対応を考えています。

※2つの条例は、全員賛成で可決しました。

補正予算

一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ4億3千918万3千円を追加し、予算の総額を99億4千76万1千円とするものです。

全員賛成で可決されました。

〔主な内容は〕

▼歳入の部

・小山中学校と北郷中学校
屋内体育館施設改築工事に伴う交付金
1億9千347万円

・北郷中学校屋内体育施設改築事業債
2億5千410万円

・各保育園にウイルス除菌加湿器など設置するための補助金 264万円

▼歳出の部

・全国瞬時警報システム装置（ジェイアラート）の設置 932万円

・北郷中学校屋内体育施設改築工事費 4億800万円

・子育て応援特別手当支給事業費 2千164万円減額

Q この特別手当は政権交代に伴い執行停止となるが、町ではそれに代わる独自の支援策を検討しているのか。

A 現在の財政状態から考えて国からの交付金が無くしては執行することは、難しいので、減額補正をするものです。

代表監査委員に 池谷さん

尾崎幸太郎様が急逝され、その後任として池谷浩さん（湯船）を新しく任命することに同意可決しました。

任期は、平成22年1月1日から平成25年12月31日までです。

尾崎様の御冥福をお祈りするとともに心より感謝を申し上げます。

財産の取得

各幼稚園、小中学校へデジタルテレビなど購入

地上デジタルテレビに対応するため各幼稚園、小中学校へデジタルテレビを、小中学校へパソコンなどを購入するものです。

* 契約先 日興通信機 沼津支店

* 契約金額 3千979万5千円

* 納入期限 平成22年3月25日

※全員賛成で可決

3月定例会のお知らせ

3月定例会を次のように開催する予定です。議会の傍聴にお出かけください。

◆2月25日 町長から3月議会への提出議案の説明

◆2月26日 新年度予算の補足説明

◆3月2日 新年度予算の質疑と常任委員会への付託

◆3月3日 一般質問

◆3月16日 常任委員会委員長の審査結果報告、質疑、採決

※変更になる場合があります。



建設中の足柄ふれあい公園

● 一般質問 ●

町政のここが聞きたい



▲ インフルエンザ予防接種の様子



池谷 洋子

Q 高齢者に肺炎球菌ワクチンの公費助成は

A 平成22年度から実施していきます

Q 肺炎球菌ワクチンは肺炎、気管支炎などの呼吸器感染症や副鼻腔炎、中耳炎、髄膜炎を予防し接種回数も1回で5年程度、効果があります。新型コロナウイルス大流行の中で、高齢者に肺炎球菌ワクチンの公費助成をすることは、

又、実施の場合ほどの位の公費助成を考えているのか。

A 町長 ワクチンの肺炎球菌の公費助成については、御殿場市医師会と3年間にわたり協議を重ねてきました。肺炎球菌は、80種類以上の型がありますが、感染する機会が多い23種類の型に対しては1回の接種で5年以上の期間、免疫が持続します。

ワクチンの接種は任意接種でありますが、高齢者や心臓、呼吸器に慢性疾患のある方などの肺炎による重症化防止に有効であると考えておりますので、御殿場市医師会の協力をいただきながら、平成22年度から実施していきます。

公費負担については、現在、平成22年度予算要求の段階であり検討中です。

Q 「救急医療情報キット」とは、高齢者世帯、一人暮らしの高齢者、障がい者などが救急を要する時、医療情報（かかりつけ医、持病、緊急連絡先）や健康保険証のコピー、本人の写真などを「キット」という筒状の容器に入れ冷蔵庫に保管、届けつけた救急隊員が、その

情報を生かし、迅速に適切な救命処置をするという仕組みです。災害時対策の観点からも注目されますが、この「救急キット」の配布事業については、

A 町長 医療情報キットについては、緊急時に駆けつけた救急隊員が、その情報を活かして適切な救急処置をするために有効なものです。保管された情報は、常に最新であることが求められます。そのため、この運用については、地域の自主防災組織及び民生委員などの理解と協力が必要となります。

今後、医師会をはじめ関係機関などのご意見を伺いながら研究していきます。

● 一般質問 ●



▲ 樹頭のわさび田で捕獲された猪



岩田 治和

Q 有害鳥獣被害の状況と対策は

A 協議会などに働きかけ有効な対策を検討

Q 野生動物の被害については、生息域である山林が荒廃したため、食材を求めて人里に出現するようになっていたり、一部の農地が担い手不足により荒廃し、里と山の境界があいまいになった結果、行き来しやすくなるなどの要因が考えられている。

近年、野生動物による被害が広域化しており、市町村の現場では狩猟者の高齢化や財政難などで効果的な対策が打てないなど問題は深刻化している。野菜をはじめ、水稲、果樹、立木までが被害を受けている。特に、イノシシの被害は多く、農地の周囲をトタンで囲ってあっても破壊し、さらに、低い柵は飛び越え、丹精を込め育てた作物

を荒らしまわる被害が多く出ている状況である。

鳥獣被害対策の先進地では、各種の助成制度も講じられ、その内容も電気柵の設置など比較的有効な対策には補助金の支給などが図られているが、本町においては、予算は少なく個人が行う対策には補助の対象にはならないのが現状である。

A 町長 被害はほとんどの猪と鹿によるもので、町内ほぼ全域に及んでおり、春先には水掛菜、秋口には水稲、サツマイモ、大豆などの農作物をはじめ植林をした苗木やゴルフ場の芝にも被害が発生しています。この対策として町では、被害

を未然に防ぐため、個人としてできる餌付けなどの食べ物の残りがすを、畑に放置しないことなどへの周知を図ると共に、被害対策として電気柵の設置に対し一部援助を行っています。また、有害鳥獣駆除を猟友会小山支部へお願いするなど、その対策に努めています。北駿農業振興協議会においても、被害状況の把握や、対策についての協議をしており、今後個体数の把握等検討を重ね、駆除による頭数調整ができるよう、関係各方面に働き掛けていきます。

● 一般質問 ●



▲道の駅（仮称）「すばしり」完成予定図



田代 一夫

Q 道の駅（仮称）「すばしり」周辺の地元との調整は

A 指定管理者に係る地元説明会を延べ9回開催

Q 整備計画の経緯、発案、計画、設計及び地元地域との調整、地主との交渉経緯はどのように進められてきたのか。

A 町長 「第3次小山町総合計画」など、須走地区の主要施策として位置付けており須走影徳山林会から須走地区のまちづくり計画策定の要請を受け、平成14・15年度に基本構想を策定。また、平成17・18年度に基本設計、平成19・20年度に詳細設計を実施し、この間、須走地区と調整を重ね、用地の大部分は須走影徳山林会と町有地とを交換していただきました。

Q 道の駅整備事業に対して、9億数千円の指定寄附があった

A 町長 整備計画の経緯、発案、計画、設計及び地元地域との調整、地主との交渉経緯はどのように進められてきたのか。平成19年3月に須走影徳山林会から寄附金9億980万円を受け、これを基金として積立し、各年度の事業費に応じて充てられております。

Q 整備事業費及びひ国、県、町、地元の負担割合と、町起債の充当割合は。

A 町長 事業費は、16億5千万円が町の実施事業費であり、その内訳は、国費が5億8千万円、基金繰入金金が5億7千万円、町の負担分が5億円でその内の約84%に相当する4億2千万円が起債による負担額となります。

Q 指定管理者の選定について、地元との調整はどのように進めたのか。

A 町長 須走地区から指定管理者に係る説明会の開催要請もあり、影徳山林会の役員や関連会社、商工会須走支部、須走地域振興協議会などと平成20年5月から延べ9回開催し、地元の皆様には理解されたと考えています。公募選定の経緯は、町内外から7社の応募があり、プレゼンテーションとヒアリングにより、経営方針・事業展開・地域との連携や地元からの応募など、選定基準の評価に基づき、瞬じ力が指定管理候補者として選定されました。

● 一般質問 ●



▲ミニポートピア富士おやま（仮称）の建設予定地



菑田 豊造

Q

ミニポートピア富士おやま(仮称)の設置について町長の認識は

A

私の気持ちに変わりはない

Q

衛富岳サービスとは、どのような会社と認識しているか。医療法第46条に抵触していると神奈川県では指摘しているが、当局は看過しているか、当局は看過しないか。危機管理意識の欠如ではないか。

A

町長 本年3月議会でご答えたとおり神奈川県開成町の医療法人の子会社として、病院の施設管理、不動産管理などを行っているということです。

Q

衛富岳サービスに対する損害賠償請求に毅然とした態度で臨むとは。

A

町長 訴訟に関しては訴訟としては訴訟代理人と共に対応しており、8月の議会全員協議会で配付した訴状に対する答弁書の写しの内容のとおりです。全面的に争うということに変わりはありません。

Q

町長の進める政策の根幹は「健体安心」のまちづくりだが、この政策への影響は。

A

町長 ポートピアの設置は小山町の事業ではなく、町の関わる事務は事実上終わっているため、町の政策への直接の影響はないと考えています。将来に向けての町の発展のために、また

Q

町長は、町民の過半数が設置に反対と認識していると言われたが、御自身は。

A

町長 当該施設に対する認識ですが、再三議会において表明してきたとおり、気持ちに変わりはありません。

議員研修報告

— 神奈川県開成町 露木町長を迎えて —

2市1町(裾野・御殿場・小山)議員研修会が11月20日に御殿場市内で開催された。講師の露木順一氏は国の地方分権改革推進委員会の委員。
(講演要旨)

地方分権改革推進委員会は10月7日に、政府に対し自治立法権の拡大による「地方分権」の実現に向けた第3次勧告を、11月9日に、自治財政権の強化による「地方分権」の実現に向けた第4次勧告を行った。第3次勧告にて現行法令の877条項について見直しを提言を行い、このうち142条項について条例制定権の拡大を勧告した。

- *NPO団体等の意見表明の場面の増大などにより住民自治の促進が図れる。
- *政策立案、条例制定に伴う自主的調査・研究などにより地方議会の体質転換、逆提案が期待できる。などが挙げられる。
- 国から地方への権限移譲に伴い、「見直し対象」と「調べき措置」の主なものは
 - ①保育所の設置基準
 - 建築物の面積、必要設備
 - ②公営住宅の入居基準
 - 月額収入
 - ③公立小中学校の職員配置基準
 - 基準学級あたり
 - の教師の配置人数
 - ④福祉施設の認可基準



2市1町議員研修の様子

【日井淳一 記】

可基準
⑤道路構造令の基準などである。
地方分権は住民自治が基本であるので

- ①条例の時代に対応できる地方議会の条例審査能力、条例策定能力
- ②行政の広域化に伴う職員の専門能力の確保
- ③チェック機能としての監査事務局のあり方などが問われる。

行政視察研修報告 in 広島 平成21年10月6日～8日

江田島市

— 海上自衛隊第一術科学校 ほか —



海上自衛隊第一術科学校にて

- 呉市にて
- 1 鉄のくじら館。潜水艦の戦力を高めるため居住性を極限に抑えてあり、閉塞の恐怖を感じた。
- 2 大和ミュージアム。戦艦大和の1/10模型に見入る。
- 3 ポートピア兵。何とも異様な人々のふるまい。
- 4 市役所。議会だよりは発行していないとか。

江田島にて
旧海軍兵学校。かの秋山真之はここでいかに学びしか。資料館でレイテ海戦の特攻で散華した学友勝又富作(深良出身)の名を見て、強く心を打たれた。
小学校の修身で学んだ佐久間校長の遺言を実物で拝し、身の凍る思いで立ち尽くした。ここでの感動はことばでは表わせられない。ただただ万感の思い。

【若田潤泉 記】

呉市

子育て支援サービスの推進について
ファミリー・サポート・センターの現地視察



ファミリー・サポート・センターにて

呉市運営のファミリー・サポート・センター事業は、育児の援助を行いたい人と援助を受けたい人からなる有償ボランティアの会員組織で相互援助活動の調整、アドバイスを行っています。
内容は、子どもの預かり、料理、掃除など子育てを安心して続けられる環境づくりを目的としています。
まさに地域で支える子育て支援です。
小山町も子どもを取り巻く環境の変化に対応できる施策を考え、実現を目指していきたい。

【浪谷洋子 記】



— 私からの提言 —

米 山 洋 (須走)

地域を同じ目線ではなく、別の目線で見てみれば

富士箱根トレイルのガイドマップを始めて見た時に、小山町を空の上から一望できてとても新鮮な感じを受けました。

富士山五合目から出発する一本の赤い道を順にたどり、立山、三国山、不老山、金時山を見て、あらためて小山町は富士山が近くにあって美しい山々と自然に囲まれて、きれいな水と空気の町が見てとれ、この一本の道が小山町の各地域を結んでいるが見られます。

富士箱根トレイルを歩いて見ると、今まで知らなかったいろいろな地域の魅力を次々みることが出来る面白いコースだと思いました。

富士箱根トレイル、一つ取ってみても今まで知らなかった小山町の各地域の魅力が

たくさん出てきています。

自分の周りの地域の魅力について同じ目線ではなく別の目線で見れば、もっとたくさんの魅力や発見が出てくるのではないかと思います。それらをこれからの町づくりにつなげ、創意と工夫に結び付けていけば、町の再生を見ることが出来るのではないかと思います。



富士箱根トレイル開通記念のハイキング風景(大洞山付近にて)

会議録の閲覧ができます
 議会だよりは、紙面の都合により、議員や町長等の発言を要約して掲載しています。詳しく知りたい方は、図書館で閲覧できますので、ご覧ください。
 なお、12月定例会の会議録は、2月下旬から閲覧できます。
 議会だよりは、町のホームページに掲載していますので、ご覧ください。

小山町のホームページ <http://www.fuji-oyama.jp>

皆さんの声を募集しています！
 町づくりや子どもの教育のことなど、どんなことでも結構です。あなたの住所、氏名、電話番号を明記してメール、ファックスやお手紙で気軽にお寄せください。
 ご応募いただいた内容は、広聴委員会でご検討し、ご本人に承認していただいた上で「議会だより」に掲載することとします。

議会へのメールアドレス gikai@fuji-oyama.jp

編集後記
 米国オバマ大統領の「Change」We can」の新鮮な言葉は、米国民に期待と感動を与えた。
 我が国では、「政権交代」「マニフェスト」の政策が国民に信頼され、人々は社会構造の閉塞感・こころの状態から脱するべく新たな方向を選択した。
 新政権・新政府の誕生となった選挙を託された政治家は、改革政策の実現をもって国民に示さなければならぬ。
 私たちも国政の変化に合わせて、従来の慣例慣行に固守せず、是正や改廃などの積極的な取り組みをすべき事と考えます。
 (湯山 敏夫 記)

〈編集委員〉
 委員長 湯山 敏夫
 副委員長 菅田 豊造
 委員 日井 淳一
 委員 池谷 洋子
 委員 岩田 潤泉

